

## 崩された新幹線の神話

### シンテラエクスプレスから火花！

1991年9月30日、東京駅発、新大阪駅行き「最終ひかり291号」通称「シンテラエクスプレス」が東京駅を発車後から15号車の前から2番目の車輪がロックしてしまいました。床面から火花を出して、220キロの速度で、600名を乗せてそのまま三島駅まで運転されたのです。あわや脱線転覆事故になる危険性がありました。

### 「のぞみ」連続バラスト跳ね上げ事故！

1993年4月4日「のぞみ304号」が岐阜羽島駅通過時バラストを跳ね上げ、上りホームにいた乗客に当たり、怪我を負うという事故が発生しました。

4月30日には、豊橋駅通過時にもバラストが乗客に当たり負傷しました。しかも、同ホームで16個ものバラストが発見されました。

### 「のぞみ」減速闘争！

東海労は、「被害者にも加害者にならない」ために、会社に対してバラスト跳ね上げ対策を再三にわたって申し入れてきました。「のぞみ」通過駅の速度を220キロに減速すること（減速しても定時運転で通過）。バラスト跳ね上げ防止ネットの設置など要求しましたが、会社は、要求した対策を無視し続けてきました。

東海労は、「のぞみ」の全乗務員を対象に岐阜羽島駅など三駅の通過速度を減速する減速闘争に突入しました。その結果、会社は5月10日「合成樹脂をバラストに散布し、バラスト跳ね上げ防止対策をする」とマスコミに発表し、この対策を行いました。

### 安全第一・責任追及より原因追求の杜風へ！

「安全を軽視し営利優先する経営や原因究明より責任追及を優先する」今の杜風では、重大な事故につながりかねません。

**安全第一・原因追究優先！日勤教育廃止！訓練の試験化廃止！**

と声をあげましょう！